

康德二年六月

第一回 縣產業技士會議農務關係打合事項

實業部 農務司

目次

農務司長訓辭要旨

指示事項

- 一、經濟月報ニ關スル件
- 一、種子配布ニ關スル件
- 一、種子消毒ニ關スル件
- 一、農事試驗場ノ設置ニ關スル件
- 一、農産物ノ品評會ニ關スル件
- 一、農業（簡易）氣象ノ觀測ニ關スル件
- 一、耕作狀況調査ニ關スル件
- 一、特殊作物ノ栽培ニ關スル件
- 一、産業改善施設及農村振興計畫ニ關スル件

注意事項

- 一、模範農村ノ運営ニ關スル件
- 二、農業團體ニ關スル件
- 三、農業知識普及對策ニ關スル件
- 四、農業勞働ニ關スル件
- 五、配布用種子ニ關スル件
- 六、農産物品評會ニ關スル件

希望事項

- 一、病虫害豫防實施ニ關スル件
- 二、縣一般事情記錄ニ關スル件
- 三、勸農古賢ノ業績ニ對スル研究ノ件
- 四、滿洲語ノ修學ニ關スル件

諮問事項

- 一、二荒地恢復ニ關スル件
- 二、農業金融對策ニ關スル件
- 三、青田賣買ニ關スル件
- 四、農産物取引改善ニ關スル件
- 五、病虫害其ノ他ノ災害ニ關スル件
- 六、北滿ニ於ケル優良大豆小麦種子配布ニ關スル件
- 七、農事試驗機關設置ニ關スル件
- 八、其ノ他

農務司長訓辭要旨

農業ノ開發方針ハ産業トシテノ農業カ有スル其特殊性ノ認識ニ立脚シテ樹立スル要アリ即チ農業ハ鑛業、林業、水産業、工業等ノ如キ既存ノ天然資源若クハ原料ヲ基礎トシテ資本ノ擴大ニツレ其ノ規模ヲ増大セシメ得ル産業ト異ナリ我國ノ如キハ多數民衆ノ生活ヲ維持スル産業デアリ零細合衆的ノ經濟ヲナスモノテ所謂資本主義的ヲ開發ニ偏シテハ其ノ活路ヲ見出し得ナイ即チ農業ニ於テハ力耕スル人民ヲ土臺トスルモノテアツテ我國ニ於テハ殊ニ然リトスル我國國民經濟ノ構成上此ノ多數農民ヲ土臺トシ其ノ業務ヲ發達セシメ而シテ之ヲ原料トスル工業ノ發達ヲ圖リ農民ノ繁榮ハ即チ工業者ノ繁榮ハ又農民ニ福祉ヲ與フルカ如キ産業組織ヲ具フルコトカ望マシキコトアル。從ツテ農業行政体系ハ努メテ地方農民自体ノ努力ヲ喚起誘導シ其ノ聲ヲ直チニ聞クコトノ出來ル機關即チ地方行政機關カ其ノ聲ヲ綜合シ之ヲ逐次機構化シ上部ニ綜合化シテユクモノテアルコトヲ理想トスル。鑛業ニ於ケル鑛

業監督所ノ如キ、林業ノ如キ國營ニヨル森林事務所ノ如キ、水産ノ水産局ノ如キ重要工業ノ特殊公司制度ノ如キトハ確然ト區別セラルヘキモノテアル。換言スレハ農業ノ如ク人民ヲ土臺トスル産業ニ於テハ經濟即行政デアリ行政即經濟テアラネハナラヌ。地方産業技士ノ任務タル其ノ第一線ニ立ツモノテアリ努メテ這般ノ指導原理ヲ体得シテ指導ニ當ツテ戴キタイ。

其ノ發展ノ大道ハ一方農業者ノ協力ヲ下カラツクリ上ケルコトデアリ一方中央政府ニ於テハ農業經營ノ技術的根據ヲツクリ或ハ其ノ信用ヲ高メル爲メノ援助ヲ積極的ニ行フヲ必要トスル之ヲ具體的ニ言ヘハ中央ニ於テハ農事試驗機關ノ整備、利水事業ノ助長、國際的見地ニ立ツ各種農産物ノ改良増殖ノ大綱樹立竝地方産業團體ノ信用助成ニツトメ、地方ニ於テハ自給自足主義ヲ強化シテ農業生活ノ安定ヲ期スルト共ニ、試作場設置、改良種苗ノ普及、模範農場ノ施設、病虫害防除等農業ノ實踐的教育ヲ通シ經濟紐帶ノ密接ナル同業

組合的若シクハ實行組合的團體ノ組織ヲ喚起シ團體信用ヲ以テ金融ノ圓滑化、備荒對策並農民ノ販賣購買過程ノ諸々ノ不利ノ排除ヲツトメルヘキテアル。

何レニセヨ現在産業調查局ノ調査ノ成果ハ全面的ナル政策遂行ノ基礎資料トナルモノテアリ之ニ對シテハ十二分ニ力ヲ盡クサレ度イコトヲ特ニ嚮調シテ置キタイ本日茲ニ産業技士ノ最初ノ集會ニ當リ素懷ノ一端ヲ述ヘタノテアルカ特ニ再言注意シテ置キタキコトハ農業ニ於テハ地域的ニ極メテ特殊の事情カ存在スルコト多ク此ノ特殊性ヲ閑却セサルコトト全時ニ一面現代ニ於テハ一部地方ノ事象ニ囚ハレス一國の若クハ國際の事情ヲモ比較考照シテ其ノ對策ヲ誤マラサランコトヲ緊要トスル、故テ中央、地方ノ兩機關ハ不可分一體ノ緊密ナル連絡ヲ心懸ケ互ニ其ノ意志ノ疎通ニ遺憾ナカラシムコトヲ期待シテ止マナイ
現在本部ニ於テ施行中若クハ施行セントスル各種事業ニ關シテハ後日ノ指示並諮問ノ各項ニ讓リ一言以テ訓辭ニ代フル次第デアル

指示事項

一、經濟月報ニ關スル件

從來縣務報告ニ關シテハ民政部ニ於テ徵收シツツアル趣キナルモ縣ニ於ケル經濟事情ニ關スル報告ハ時ニ一括呈報セララルニ過キス之カ月々ノ變動推移ノ狀勢ヲ知ルニ出ナク之ニ對スル方策ヲ樹ツルニ不便ナリ、故ニ縣ニ於テモ常ニ經濟學家ノ基本的因子ニ關シテハ常時資料ヲ蒐集整理シ其ノ動向ヲ考照スルヲ最緊要ト思料セララルニ付茲ニ「經濟月報」ノ樣式ヲ定メ之ニ依リ縣實業股長ノ責任ニ於テ呈報方指令セントス
就テハ縣技士ニ於テモ之カ正確實施方ニ留意指導サレ度

一、種子配布ニ關スル件

本事業ノ主旨ハ優良適品種ノ發見セララル迄品種改良ノ一助トシテ比較的優良種子ノ配布ヲ行ヒ北滿ニ於ケル品質劣惡ナル在來小麥及

大豆ノ改良、増殖ヲ計ルニ在リ本部從來ノ旅行方法ハ普及各縣ニ於テ縣長、參事官、農務會長、縣公署官吏、農務會職員等ヲシテ配付機關タル委員會ヲ組織セシメ本部ハ海陸及國際運輸會社ヲシテ種子ヲ買付ケシメ之ヲ縣ニ交付シ農民ニ配布セリ

過去二年間ニ於ケル普及實績ニ付キテハ過渡期ニ於ケル諸種ノ事情ニヨリ在々計畫ノ主旨ニ背馳シバラ撤程度ニ止マリ、結果ニ於テハ遺憾ノ點處々アリタルモ從來ノ狀態下ニテハ詮方ナシト云ハサル可カラス

今後ハ地方治安ノ維持ト相俟ツテ該事業ニ永續性ヲ有セシメ且農事改良ヲ爲スニ當リテモ地方ニ於ケル原動力トナリ活動シ得ルカ如キ性質ヲ具備スル機關ヲ設置セントス

即チ縣内ニ於ケル一、二ノ模範農村ニ委託採種圃ヲ設置シ増殖普及ノ根據地ヲラシム、即チ縣駐在技士ノ入縣セル縣ヲ主トシ、縣内ニ於ケル模範農村ニ種子ヲ配付委託スルト共ニ專ラ圃場ノ管理、耕作

法ノ指導品評會ヲ開催スル等次年度ヨリハ此ノ採種圃ヨリ生産セル種子ヲ以テ漸次他ノ地域ニ普及スル方針ナリ

一、種子消毒ニ關スル件

(一) 今春本部直轄ノ下ニ實施セル種子ノ黒穗病消毒及今後共實施セントスル病虫害驅除計畫ハ何レモ重大ナル意義ヲ有スルヲ以テ地方當局ニ於テモ本部ノ實施、又ハ調査ノ場合ニ單ニ忠實ナルノミナララス本部計畫大綱ノ地方ノ特殊事情ニ副ハサル點ヲ吟味指摘シテ本部ニ報告シ漸次各地方ノ民情ニ台致セル完全ナルモノト致スヘシ

(二) 本年度消毒ヲ實施セル地方ハ明年ヨリハ本部ニ於テ或ル程度現物又ハ補助費ノミ給與シテ地方當局ニ實施委任スル豫定ナレハ右主旨了知ノ上明年度計畫案編成ノ上康徳三年一月末迄ニ本部農産科ニ送附スルト共ニ明年度豫算編成ニ當リテハ右主旨ヲ考慮スヘシ

(三) 單純ナル地方農民間ニハ新規事業ニ對シテハ迷信的怨ヲ抱ク者多キヲ以テ消毒實施濟播種ト雖モ突發的大災又ハ消毒ノ爲ニアラサル他ヨリノ損害ヲモ動モスレハ新シキ仕事ニ其ノ責任ヲ轉嫁セントスル傾向アルモノナリ、故ニ消毒區域ニ於テハ假令現在迄好成績ヲ收メタリト雖モ充分注意監督ヲナシ不慮災害發生セル場合種子消毒ニヨル影響ト混同セサルヤウ取速ニ利解セシムヘシ

(四) 消毒種子ニ關シ農民ト民間代表間ニ不當ナル取引ナキニシモアラスルヤノ情報アリ地方當局ニ於テモ此ノ點留意シテ今後トモ嚴重ニ取締リ折角ノ本部ノ事業ニ對シテ誤解、惡影響ヲ殘ササル様監督スヘシ

一、農事試驗機關ノ設置ニ關スル件

(一) 農事試驗機關設立ニ當リテハ基本的ノ試驗ハ國立農事試驗場ニ於テ實施スルヲ以テ各縣立ノモノハ試作場採種圃、模範農場程度ト

シ栽培品種等ニ就テハ本部ノ方針ニ反セサル様充分連絡ヲドラレ度

種子購入等ニ關シテハ本部ニ於テ極力援助ヲナスヘシ

(二) 各縣ニテ農事ノ講習及講話、農事見習生ノ養成等ヲ爲ス場合モ充分本部ト連絡サレ度

一、農産物品評會ニ關スル件

縣主催ノ農産物品評會ヲ開キ補助金及審査員ノ派遣方ヲ請願セントスル場合ハ少クトモ開催期日二ヶ月以前ニ本部ニ申請シ之カ認可ヲ受クヘシ

一、農業（簡易）氣象ノ觀測ニ關スル件

觀測器具配布縣ニ在リテハ常ニ觀測者ヲ監督シ報告ニ當リテハ必ス審査ノ上誤アル場合ハ之ヲ訂正シ發送サレ度

一、耕作状況調査ニ關スル件

本調査ハ耕作状況ノミナラス各期ノ作況及地方農況ヲ調査シ報告スルモノニシテ農産物收穫高豫想ノ上ニ里大ナル役割ヲ爲スモノナレハ別冊調査要領ニ從ヒ調査期日ヲ選セス正確ナル調査報告ヲナサレ度

一、特殊作物ノ栽培ニ關スル件

亞麻、甜菜、忍布等ノ特殊作物ノ栽培獎勵ニ當リテハ各地方ノ自然的、經濟的基礎條件ヲ充分調査研究ノ上着手スルト共ニ其ノ生産物ノ販賣整理ニ關シテハ、各製造會社ノ規程、等級、價格等ノ査定並取引上特ニ農民ノ損失ヲ招カサル留意セラレ度

一、産業改善施設及農村振興計畫ニ關スル件

各縣ニ於テ實施セラレントスル各種産業改善施設及農村振興計畫等

ハ本部トシテモ具體的ニ承知シ直キ度キニ付省ヲ經テ其ノ都度報告アリ度其ノ計畫ノ大ナルモノハ隊メ相談致サレ度

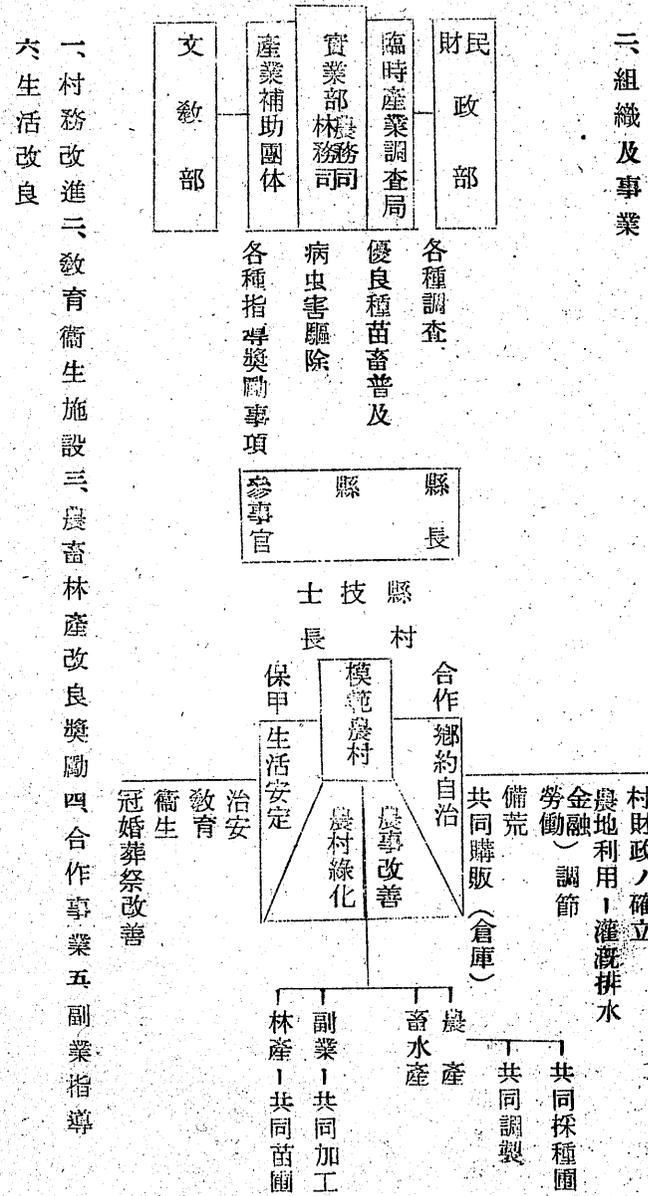
注意事項

一、模範農村ノ運営ニ關スル件
 根本的農村建設ノ一試圖トシテ模範農村ヲ設定シ之ニ指導ヲ集中スルノ方策ハ既ニ實施ニ移レル縣アル趣ナルモ其ノ運営ニ關シテハ其ノ方策ノ本來ノ使命ニ鑑ミ努メテ實證的成績ノ向上ニ努ムルヲ要スヘク本部ノ諸施設諸獎勵モ之ニ集中スルコト可能ナルニツキ斯ル計畫ヲナシタル時ハ速報スヘシ。

參考 模範農村運営目標

模範農村運営目標

- 一、模範農村ノ運営ハ其ノ地域ノ特殊性ニ基キ各々計畫ヲ樹立スヘキモ一般的運営目標左記ノ如シ
- 二、組織及事業



- 一、村務改進
- 二、教育衛生施設
- 三、農畜林產改良獎勵
- 四、合作事業
- 五、副業指導
- 六、生活改良

模範農村運営ノ參考

	南 滿 地 帶	中 部 地 帶	北 滿 地 帶
農 産	棉花、煙草、落花生、苹果、梨、葡萄、ケナフ、ルーサン、ザイトウキケン、各種改良蔬菜、花卉 (採種用) 病虫害防除	改良大豆、大白粟、忽布甜菜、杏、葡萄、改良蔬菜、人參、病虫害防除	小麥、大豆、甜菜、亞麻、牧草、グスベリ、木莓、杏、改良蔬菜、病虫害防除
林 産	育苗、植樹、(胡桃、栗イタチハギ、杞柳ヲ加フ)	育苗、植樹、(胡桃、イタチハギ、杞柳ヲ加フ)	育苗、植樹、毛皮獸
畜 産	鶏、豚、羊、山羊、蜜蜂	鶏、豚、羊、山羊、蜜蜂	鶏、豚、羊、山羊、蜜蜂
副 産	粉條子、漬物、トマトソニス、トマトケチャツプ織布、ホムムスパン、麻繩、藁細工、箒造り、蓆子、蓆包、杞柳細工	粉條子、葫蘆條子、漬物トマトソニス、トマトケチャツプ、麻繩、ホムムスパン、毛糸編織布、杞柳細工、蓆子、蓆包、山葡萄酒、漁撈及其加工	粉條子、葫蘆條子、製粉、漬物、山葡萄酒、織布、毛皮編物、ホムムスパン、漁撈及其加工
共 同 施 設	繰棉機、織機、精選機、採種圃、苗圃、造林、共同作業場、生産物、販賣、金融合作	精選機、織機、苗圃、造林、共同作業場、採種圃、生産物販賣、金融合作	精選機、織機、共同作業場、苗圃、造林、採種圃、生産物販賣、金融合作、毛糸編物、麻繩

一、農業團體ニ關スル件

小農經營ノ改善ハ農家ノ協同活動ニ俟ツヘキヲ少シトセス未タ之ニ對スル系統の指導助成ノ實施ニハ至ラサルモ地方ニ發生シツツアル端初的ナル團體活動ノ諸傾向ハ看過スヘカラサルモノニシテ努メテ其ノ基礎ヲ實質的活動ニ置ク様指導ノ要アリ。特ニ農會ノ運用ニ關シテハ中央ノ農會對策ハ確立ニ至ラサルモ現在縣ニアリテハ既存農會ヲ活用スルヲ便トスルコトアルヘク又内容不良ナル農會ニ對シテハ逐次指導改善ヲ試ミル努力モ亦必要ナリト思料ス。又保甲及村屯制モ農會上利用スヘキ既存團體ナレハ利用上考究ヲ要ス。而シテ之等團體ノ設置利用又ハ計畫中ノモノニ關シテハ報告アリタシ。

一、農業知識普及對策ニ關スル件

農業振興ノ要諦ハ指導的人物ノ有無ニ係ルトコロ大ニシテ特ニ滿洲農業界ノ實情ニ鑑ミ國內諸縣ニ於テハ眞摯ナル農民教育ニ努力ヲ傾

注セントスル氣運膨湃タルハ欣フヘキトコロナリトス
其ノ實施ニ當リテハ該教育ノ重點ヲ特ニ農村ニ在住シ農家トシテ一
般農民層ヲ率ユル底ノ中心人物養成ニ置クコトヲ肝要ナルヘシ
教育資料ノ蒐集、其ノ他該事業ニ必要ナル援助ハ本部ニ於テモ出來
得ル限り必懸クヘシ其ノ實情ニツキテハ呈報スヘシ

一、農業労働ニ關スル件

本年ハ中國ヨリノ労働者ノ入國統制ヲ強化シツツアリ之カ農業經營
ニ及ホス影響ハ注目ヲ要ス

農耕期ニ於ケル勞賃騰貴及勞力並役畜不足並労働不足ニ基ク農作業
ノ管理不充分ノ傾向等ニ關シテハ努メテ詳細ニ報告アリタシ

一、配布用種子ニ關スル件

本部ヨリ配布セル小麥、大豆ノ栽培農家ニ對シテハ專ラ圃場ノ管理

栽培法ノ指導、監督ノ任ニ當リ立毛、農産物品評會ヲ開催スル等之
等ノ方法ニヨリ優秀ナル圃場ヲ撰定シ次年度ニ於テハ該圃場ヨリ生
産サレタル種子ヲ以テ配布用種子ニ充テントスル計畫ナルニツキ此
ノ點ヲ特ニ留意セラレ度

一、農産物品評會ニ關スル件

出品希望者多數ニ上ルトキハ豫メ各區ニ於テ小規模ノ品評會ヲ開キ
各區ノ代表者ヨリ出品セシメル様取計ヲコトトシ且出品物ノ種類、
數量等ハ縣當局ニテ適宜決定ノコト出品量小量過キル場合ハ目的ニ
副ハサル結果トナル惧アルニ付注意アリ度

其ノ他品評會ト同時ニ農民ノ慰勞會（例ハ福引、映畫等）及小學校
ノ學術展覽會等ヲ併セ行フ時ハ其ノ効果大ナルモノアルヘシ

希望事項

一、病虫害豫防實施ニ關スル件

農産物病虫害豫防並驅除實施ニ關シテハ其ノ都度本部ニ於テ之ヲ施行スルカ如キハ勿論望ムヲ得ス今春實施セル病虫害豫防ハ農民ヲシテ實地的ニ指導啓發シ豫防思想ノ普及ニ努メ將來ハ地方當局ニ於テ直接之ノ種事業ノ計畫指導ノ任ニ當ルヘキナリ故ニ農閉期ニ於テ縣職員及農民代表ヲ集メテ右ニ關スル講習會ヲ開催スル豫定ナリ

又今後本部ニテ直接ニ實施スヘキ各縣ニ於テハ計畫起案ノ際ハ初メテノ企テナルニ付徒ラニ廣汎ナル區域ニ跨ルヨリハ宣撫工作實施、治安事務監督ノ徹底ヲ期スル爲縣公署所在區域ノ一區又ハ二區内ニ定メ遺憾ナキキヤウ準備サレ度

尙今后宣傳又ハ實施ノ際ハ其ノ資料ヲ滿系新聞ニ提供シテ掲載セシムル予定ナレハ地方ニ於テモ地方新聞ヲ利用サレ度

二、縣一般事情記錄ニ關スル件

滿洲各縣ハ目下變革ノ渦中ニアリ、今後如何ナル發展變化ヲ經ルヤ知ルヘカラス、今日在縣日々ニ觸目印象スル所ノ人情風俗社會一般ノ諸事ニ關シ常ニ諸君ノ新鋭ナル頭腦ヲ以テ記錄の努力ヲ傾ケ、時時綜合的編輯ヲナシ之ヲ發表スルコトハ一般系數的調查報告ト並ビ地方各縣ノ實情ヲ彷彿セシムルニ效果アラシムルト共ニ將來ニ於テ貴重ナル經濟、社會、史的資料トナルヘシ、今後筆ヲ督シ之ノ方面ニモ努力セラレンコトヲ望ム

又縣内農業事情ノ既在資料ノ整理ニ關シテハ日常行務ノ必要上各々着手ノコトト思料セラルルモ満足スヘキモノヲ編輯スルコト仲々困難ナルヘグ推察シ得ルサレト假令缺陷多キモノト雖暫定的ニ取纏メ時々補訂ノ意ヲ盡サレンコトヲ實業股勵ノ上一括整理方希望ス

三、勸農古賢ノ事績ニ對スル研究ノ件

農道ヲ開拓シ民福ヲ圖フセントセハ理論ト政策ノシニテ效果ヲ全フ

シウルモノニアラス、宜シク古賢ノ勤行ニ鑑ミ民衆ヲ嚮導スルノ精進ヲ要ス茲ニ於テ韋德、信淵、鷹山其ノ他内外ノ古來勸農ニ名アル聖雄ノ事蹟ニ對シ參究ヲ加ヘラレ度シ

二、滿洲語ノ修學ニ關スル件

眞ノ調査並指導ハ自ラノ聲ニ依ラサルヘカラス在縣ノ樞ヲ活用シ今後益々言語ノ修練ニ努力セラレ近キ將來ニ於テ自ラ聽キ自ラ語ル指導者ヲラレンコトヲ望ム

諸問事項

一、二荒地恢復ニ關スル件

豐富ナル土地資源ヲ生産化シ力耕農民ノ生活ノ安定向上ト地方經濟財政ノ恢復ヲ圖ルハ我國策ノ重大方策ナリ

二荒地ノ存在タルヤ天災等ニヨル自然的原因若ハ匪禍ニ基ク地主ノ不在、農耕勞力ノ不足穀價低落或ハ農耕資金ノ不足等社會經濟的原因ニ基クモノト解セラル

一、縣内二荒地ノ存在概況

三、之カ恢復策如何

一、農業金融對策ニ關スル件

我國ニ於ケル農業金融ハ現在基本的施設ノ一トシテ金融合作社ノ選動アルモ未タ其ノ活動ハ廣汎ナル貧小ノ力耕農民層ニ及ハサル程ミアリ加フルニ之等農家ハ過去兩三年來建國諸事業ノ好況モ及ハスシ

テ天災匪害ノ重壓下ニ置カレ之カ農業生産ノ滑油トシテ金融ノ途ヲ
講スルコト緊要ナリ

政府ハ窮乏甚タシキ農村ニ對シテハ春耕貸款ノ實施或ハ民食救濟ノ
策ヲ講スレ共猶農業經營ノ特質ニ立脚シ恆常的ナル金融ノ方途ヲ得
ンコトヲ切ニ希望ス其ノ方策如何

一、金融合作社事業ノ批判（綜合的農業者團體ノ金融ヨリ見テ）

二、質屋金融ノ必要性

三、農耕貸款（各種ノ）ノ改善策

四、同業生産者組合ニ對スル金融

五、今後ノ農業金融策

一、青田賣買ニ關スル件

農家經濟ノ逼迫ニ基キ青田賣買ノ慣行ヲ増大スル危險渺シトセス一
方農村ニ對スル金融方途ノ缺陥ハ右慣行ヲ農家ニ一層苛酷ナル條件

ヲ以テ行ハルル傾向ヲ有ス

之等慣行ノ有無其ノ實狀ニツキテハ注意シ呈報セラレ度シ

調査項目

(一) 青田賣買ノ時期

(二) 青田賣買農家別（目小作別及耕作面積別）

(三) 青田買者別（種棧、地主、雜貨舖其ノ他）

(四) 青田賣買條件

青田買者別

價格ノ決定

決濟方法

(五) 對策

一、農產物取引改善ニ關スル件

近時農產物價格ノ騰落ハ極メテ異常ニシテ農家經濟ノ基礎ヲ動搖セ

シムルコト甚タ大ナリ

農産物ノ消流過程ニハ改善スヘキ多クノ問題ヲ包藏シ本部ニ於テハ
之カ對策ニ腐心シツツアリ

地方ニ於ケル實情ニ照シ

一、農家出荷団体能織ノ可能性

二、農業倉庫施設ノ可能性又ハ其ノ要點

三、改善ヲ要スヘキ地方取引慣習

四、取引改善方策

農民ノ粮石運出ト其ノ歸荷ノ有無及既存粮棧雜貨高トノ結合ノ強サ
等考慮ノ上

一、病虫害其ノ他ノ災害ニ關スル件

(一)病虫害

(1)近年各地方ニ於テ發生セル各作物ノ病虫害ノ發生時期被害範圍

被害程度、發生原因等如何

(2)一般農民ノ病虫害ニ對スル意識及關心程度

(3)從來地方當局ノ夫等被害ニ對シテ講シタル救濟策如何

(4)一般農民ノ當局ニ對スル要求如何

(5)今後病虫害撲滅防止策ニ關スル地方當局ノ計劃方針如何

(6)病虫害豫防驅除ニ關シテ地方當局ノ本部ニ對スル希望條項如何

(7)今年實施セル農作物種子消毒實施ニ關スル地方當局ノ意見如何

(8)一般農民間ノ種子消毒實施ニ對スル關心程度如何

(二)病虫害ニアラサル災害

旱濕害、風、水害發生如何

細目ニ渉ル諮問事項ハ病虫害ノ項參照

一、北滿ニ於ケル優良大豆小麥種子配布ニ關スル件

(一)康徳二年春實施ノ優良大豆小麥ニ關スル調査

調査事項

1. 播種期
 2. 配布種子（大豆、小麥）ノ分布狀況
 3. 發芽ノ良否
 4. 生育狀況
 5. 病虫害ノ有無
 6. 管理狀況
 7. 响當收量
 8. 種子配布ニ對スル農民ノ態度
- 種子配布ニ關スル意見如何

一、農事試驗機關設置ニ關スル件

縣立ノ農事試驗機關（試作場、模範場、採種圃、苗圃等）ノ設置計畫アリヤ、有レハ其ノ内容如何

一、縣主催ノ農事講習及講話ノ計劃アリヤ

一、農産物品評會ニ關スル意見如何

一、農業（簡易）氣象觀測ニ關シ意見如何

一、農家副業ニ關スル件

農家副業トシテ現ニ相當ノ成績ヲ上ケウツアルモノアリヤ
又將來副業トシテ有望ナルモノアリヤ

一、本年小麥及大豆作ノ傾向如何

一、昨秋穀價高ノ農村及縣一般經濟ニ及ホシタル概況如何

一、實業股ニ人材アリヤ